

【 庁 議 記 録 】

- 1 日 時 令和8年7月21日（火）午前8時54分～午前9時18分
- 2 場 所 市長公室
- 3 出席者 市長 副市長 教育長 企画財政部長 総務部長
 市民部長 地域文化スポーツ部長 福祉保健部長 子ども家庭部長
 環境部長 都市建設部長 議会事務局長 教育部長
 幹 事 政策室長
- 4 欠席者
- 5 会議結果

市 長 これより庁議を開催します。審議事項1「令和8年狛江市議会第1回臨時会提出予定議案について」の説明をお願いします。

部 長 提出予定議案は、「令和8年度狛江市一般会計補正予算（第2号）」の1件です。

市 長 特に意見等なければ、案のとおり決定します。続いて、審議事項2「令和8年度補正予算案について」の説明をお願いします。

部 長 今回の補正予算は、中東情勢に伴う物価高の影響を受ける市民生活、農業経営及び事業活動を支援するため、生活応援給付や営農支援金、中小事業者への支援金を計上するものです。

 第一表 歳入歳出予算補正です。歳入歳出それぞれ3億7,375万1千円増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ396億2,591万1千円とするものです。

 歳入です。「15款 国庫支出金、2項 国庫補助金、1目 総務費国庫補助金、説明欄2 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」7,513万9千円は、推奨事業メニュー枠を活用して、実施する物価高対策中小事業者応援事業に要する財源を計上するものです。

 「20款 繰越金、1項 繰越金、1目 繰越金」は、前年度繰越金を2億9,861万2千円、増額するものです。

 歳出です。「2款 総務費、1項 総務管理費、11目 諸費、説明欄6 物価高対策市民生活応援事業」2億6,014万8千円は、市独自事業として、物価高の影響を受ける市民生活を支援するもので、全市民一人当たり、3,000円を給付するものです。

 なお、こちらの業務については、企画財政部の部内応援で対応する予定です。

 「6款 農業費、1項 農業費、3目 農業振興費、説明欄2 農業振興

関係費」150万円は、市独自事業として、農業者を支援するため、肥料や種苗を購入する費用の一部を助成するものです。

「7款 商工費、1項 商工費、2目 商工業振興費、説明欄7 物価高対策中小事業者応援事業」1億1,210万3千円は、国の臨時交付金の推奨事業メニュー枠を活用して実施する事業で、物価高の影響を受ける中小事業者を支援するものです。

市 長 特に意見等なければ、案のとおり決定します。

その他、東京都の補正予算や、国の予備費において物価高対策として様々な事業を展開する予定があるようなので、市としても動向を注視して適宜対応していきたいと思います。

次に、報告事項1「令和7年（行ウ）第510号狛江市返納手続及び譲与処分
の取消請求事件について」を報告してください。

部 長 6月19日に公民館所作台に関する裁判の判決がありました。判決の内容は、（1）本件訴えを却下する。（2）訴訟費用は原告の負担とする。の2点です。控訴期間は、第1審判決の正本が送達された日の翌日から起算して2週間となっており、当該判決が確定しました。

今後、市議会にも報告します。

市 長 本件について、質問等ありますか。

部 長 裁判に尽力いただいた政策室の方々には、この場をお借りして感謝申し上げます。

市 長 続いて、報告事項2「特定事業主行動計画に基づく措置の実施状況及び女性の職業生活における活躍に関する情報の公表について（令和7年度実績）」を報告してください。

部 長 初めに、特定事業主行動計画に基づく措置の実施状況についてです。公表は、これまで同様、各特定事業主の連名で行います。

令和7年度においても、引き続きライフワークバランスの啓発に取り組み、年次有給休暇や男性職員の育児休業の取得促進、業務改善による時間外勤務の縮減等を進めるとともに、女性管理職の登用に努めました。

まず、資料1ページ（2）実施状況の（ア）職業生活に関する理解促進のための研修実施についてです。

①ハラスメント分野に詳しい弁護士を講師に招き、近年の法整備等を始め、特に指導とハラスメントのグレーゾーンについての理解及び指導時のポイント等を確認しました。

②女性が健康に仕事を続け、キャリアが途切れず活躍できることを目指し、女性の健康に関する研修を実施しました。その際、相互理解の観点から、年齢・性別を問わず受講できる形式とし、職員33人が受講しました。

③男女共同参画社会の実現に向け、男女共同参画をめぐる社会の動向や基礎的な考え方への理解を深めるため、東京都市町村職員研修所が実施する男女共同参画研修に職員 24 人を派遣しました。

続いて、2 ページ（イ）職業生活と家庭生活との両立に資する勤務環境整備についてです。

①職員の妊娠・出産・育児等と仕事の両立を支援するため、令和 7 年 10 月に狛江市職員の育児休業等に関する条例を一部改正しました。これにより、部分休業等の取得方法が柔軟化されるとともに、会計年度任用職員の対象範囲が拡大されました。

②令和 7 年度も時間外勤務縮減に向けた取組が奏効し、時間外勤務の総時間数は前年度比 4,297 時間減となりました。これにより、一人当たりの年間平均時間数は 100.8 時間となり、目標値（100 時間）に大きく近づきました。

③令和 7 年度から、在宅勤務を時間単位で取得可能とする改正を行い、柔軟な働き方を推進しました。令和 7 年度実績は、職員 144 人（延べ 891 件）となり、在宅勤務が定着しつつあるといえます。

次に、3 次世代育成支援対策推進法に基づく第 2 期狛江市特定事業主行動計画における成果指標の変化についてです。

（１）男性職員の育児休業取得率は令和 7 年度実績は 100% となり、取得対象となる男性職員全員が育児休業を取得したことになります。引き続き休暇、休業を取得しやすい職場環境の醸成に協力をお願いします。

（２）年次有給休暇の取得日数は、目標値を継続的に上回っており、安定した取得状況であるといえます。

（３）先にも述べたとおり、時間外勤務時間数は年々縮減されており、令和 7 年度においては一層の縮減が進み、対前年度比で 13.3 時間の減となりました。職員の健康管理の面からも、ノー残業デー及び絶対退庁時間の徹底を引き続き遵守いただくようお願いします。

次に、3 ページの 4 女性活躍推進法に係る特定事業主行動計画の目標値についてです。

係長職以上の職員から構成される「各役職段階にある職員」に占める女性職員の割合は、目標値 35% に対して、令和 8 年 4 月 1 日時点での実績は 30.3% となりました。課長職、課長補佐職、係長職の各段階においても微増傾向となっています。また、女性職員が占める割合は、主事職で 60.8%、主任職で 61.8% となっています。

引き続き、係長職以上の職責を担える女性職員の育成に全庁的かつ長期的な視点で取り組んでいただきますようお願いします。

以上が、措置の実施状況の公表についてです。

最後に、4 ページの 5 女性の職業生活における活躍に関する情報の公表についてです。

公表内容は、(1) から (4) までは女性職員の割合や男女差に関する項目、(5) から (7) までは男性職員の育児に係る休暇及び育児休業に関する項目、(8) が職員の給与の男女の差異に関する項目となっています。各項目の実績値については、資料のとおりです。

以上の内容について、7 月 22 日の総務文教常任委員会協議会へ報告するとともに、市ホームページで公表します。

市 長 目標値に届いていない項目については、各部で目標値に届くように取り組んでください。

続いて、報告事項 3「こまバス運行事業者からの要望について」を報告してください。

部 長 こまバスの運行事業者である小田急バス株式会社より、ダイヤ改正の要望が提出されました。内容としては、運転士の確保が困難な状況から、10 月 1 日にダイヤ改正を行い、1 日あたりの運行回数を現行の 18 便から 9 便へ減便する要望です。減便による運行時間の短縮については、高齢者等の移動を考慮し、日中の時間帯を重視する運行ダイヤが示されています。

この要望を受け、7 月 29 日に開催する地域公共交通会議において、こまバスのダイヤ改正について協議します。

また、この会議では、デマンド交通実証運行についても協議予定です。

市 長 本件について、質問等ありますか。

副市長 通勤通学の時間帯が減便になるため、かなりハレーションはあると思います。また、自転車への代替が考えられるので、駅の駐輪対策をさらに進める必要があるため、先行して検討してください。

市 長 狛江市のみならず、近隣市等においても今後厳しい状況になっていくと思います。代替手段も含めて、今後の地域公共交通会議等で議論してください。

その他ありますか。

部 長 狛江古代カップ第 34 回多摩川いかだレース実施結果についてです。

7 月 19 日に狛江古代カップ第 34 回多摩川いかだレースを開催しました。20 の地域から 100 チームがエントリーし、当日は 99 チームがスピードやデザインを競いました。

多摩川緑地公園グラウンドのゴール地点会場には友好都市の新潟県長岡市川口地域や山梨県小菅村をはじめとした出店も並び、当日は天候にも恵まれ、主催者発表で 8,000 人の来場者のもと、盛況に大会を開催することができました。

今回は、2016 年リオデジャネイロオリンピック、バドミントン女子ダブル

ルス金メダリストの高橋礼華さんにもレースに参加いただき、大会を盛り上げていただきました。

レース結果は、タイム部門で「狛江二中電光石火」が優勝を飾りました。デザイン部門では、「狛江六小おかえりコマギユウ」が最優秀企画賞を受賞しました。

大会開催に当たり、運営ボランティア、レースや応援での参加等、多くの職員に協力いただき厚くお礼申し上げます。

市 長 熱中症等の健康被害の報告はありましたか。

部 長 特になく、無事に大会を終えることができました。

市 長 暑い中、実行委員をはじめ、市職員、関係機関の方々に対応いただき、ありがとうございました。表彰式等の時間を短縮していただいたのも、今回の成果だと思います。

さて、本日7月21日は私の2期目の最終日となります。おかげさまで3期目も引き続き狛江市政を担うこととなりましたが、選挙期間中、高齢の方のみならず、若い方からも狛江市は良くなったという声を多くいただきました。安全であること、こまみらいテラス、ほこみち、多摩川、といった点もありますし、総体的に良くなったと実感していただいています。その中でも嬉しかったのは、職員の方たちが本当に優しいと言われたことです。窓口等で接した際に、職員の対応が良かったということだと思います。これも、部長、管理職の指導、職員の意識の賜物であり、それが全体的な評価につながったと思います。引き続き、これからも皆様と市民のためにまちづくりを進めてまいりますのでよろしくお願いします。

最後に報告があります。平林副市長が7月31日をもって退任されることになりました。平林副市長は、職員から副市長になられ、この間、狛江市の発展のために尽力されたこと、心より感謝申し上げます。DX推進や、各方面、特に福祉、教育分野では、狛江市を全国的に有名にいただき、東京都でも評価いただいています。7月31日をもって退任ということで、短い期間ですが、各部において手続き等の対応や引継ぎ等をお願いします。

他になければ、以上で本日の庁議を終了します。次回の庁議は、7月28日午前9時00分から開催します。